

和歌山ろうさい病院広報誌

わろうて

わかやまろうさい病院からのおてがみ



和歌山ろうさい病院
副院長 中 啓吾



まだまだ残暑きびしい今日この頃、皆様は夏バテなどで体調を崩されていませんか。
今年には新型コロナウイルス感染症の影響で、夏祭りや花火大会もなく、例年とは違った夏となっていますが、感染症の脅威は古くは14世紀の「ペスト」が有名で、その後も1800年代初めの「コレラ」、1918年の「スペイン風邪」、そして今2020年の新型コロナと100年に一度のパンデミックの真っ只中にいる私たちです。

今、コロナ禍の影響で日常生活が少しずつ変わってきているのを実感します。特にこれまで花粉や風邪の季節で見かけたマスク姿ですが、街中ではほとんどの人がマスクをしているのは昨年とは全く違った風景です。そのマスクもカラフルで、以前なら違和感を感じた漆黒のマスクも日常に溶け込んでいます。

マスクが日本人にとっては欧米における「顔を隠す≠不審者」といったネガティブなイメージがあまりないのは、昔からマスクをした正義の味方(ヒーロー)の存在があったからかもしれません。古くは鞍馬天狗や月光仮面、レインボーマン、キャシャーン、NARUTOのはたけカカシ等々でしょうか。そして忍者もマスク姿がおきまりでスマートですね。大正時代のほこり・ちりよけとして誕生したマスクは、インフルエンザの大流行から本格的に普及・進化し、時代とともに現在まで人々に寄り添い健康を守ってきました。そして「他人に迷惑をかけない(感染させない)」日本人の利他の心も受け継がれてきました。

一日でも早く薬やワクチンの出現が待ち遠しいですが、今とあえずは世の中が「ひと(他人)にうつさず、ひと(他人)からうつされず」の社会システムの構築、1人1人の習慣化が大切かと思われまます。

さて、今年の病院の明るい話題としては、4月から新しい初期臨床研修医が昨年よりさらに増えて8名となり、院内では医大からの協力型研修医とともに大勢の若い先生方が元気に活躍されています。また、病院の救急車がかなり老朽化してきてDMATの活動などにも多少不安があった？車でしたが、この度、念願の新しいハイメディック救急車を御寄贈いただきました。災害拠点病院に相応しい新兵器として、今後の活躍が期待されます。

4年後の2024年には20年ぶりにお札の肖像が変わるのをご存じでしょうか。新千円札はペスト菌を発見し120年前の3回目パンデミックから日本を救った北里柴三郎博士です。このお札が流通するころには社会も健康体にもどり、私たちがマスクから解放され笑顔で会話出来る未来が待っていることを願うばかりです。

さまざまな厄災^{やくさい}に向き合いながら、つねに患者様を労る労災病院として、皆様の健康を守るためにこれからも頑張っ^{いたわ}てゆきたいと思ひます。

今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



日本医療機能評価機構認定病院
地域医療支援病院

独立行政法人労働者健康安全機構

和歌山ろうさい病院

〒640-8505 和歌山県和歌山市木ノ本93番1

TEL.073-451-3181 (代) FAX.073-452-7171 (代)・073-451-3788 (地域連携室専用FAX)

E-mail.soumu@wakayamah.johas.go.jp URL.http://www.wakayamah.johas.go.jp

和歌山ろうさい病院理念

地域の人々と勤労者に、地域医療機関と密接に連携しつつ、安全に十分配慮した最適な医療を提供する。

耳鼻咽喉科のご紹介

耳鼻咽喉科部長 森山 智美

和歌山ろうさい病院 耳鼻咽喉科は現在森山智美、小上真史、福田祐也、頭頸部外科部長横山道明の計4名で診療に当たっております。

耳鼻咽喉科が取り扱う疾患は部位ごとに様々な種類があります。耳科領域では中耳炎、突発性難聴、顔面神経麻痺、メニエール病などのめまい症があり、鼻科領域では副鼻腔炎、アレルギー性鼻炎、鼻出血、口腔咽頭領域では扁桃炎、睡眠時無呼吸症候群、味覚障害、喉頭気管領域では声帯ポリープや喉頭蓋炎、嚥下障害、唾液腺領域では耳下腺腫瘍、顎下腺腫瘍や唾石症、頸部領域では甲状腺腫や頸部リンパ節炎など疾患は多岐にわたります。また、それぞれの部位に発生する悪性腫瘍も取り扱っており、頭頸部癌診療は患者さんの話す、食べる、呼吸をするといったQOLを大きく左右する特に重要な分野であります。全国的に見ると、大学病院をはじめとした各医療機関では、耳鼻咽喉科というよりは耳科や鼻科、頭頸部外科といった、より専門性に特化した診療を行っている施設が大部分であります。当院では耳鼻咽喉科全般を診療し、さらに頭頸部癌診療を安全に行うために、現在何が標準治療なのかを念頭に、情報収集や知識のアップデートに努めております。

令和元年度の総入院症例数は656例、手術件数は1,274件でした。手術症例数の内訳としては鼻科手術が約400件と3割を占め、近年増加傾向の好酸球性副鼻腔炎や、慢性副鼻腔炎に対する手術では、鼻中隔矯正術、下鼻甲介切除術、内視鏡下副鼻腔手術の3術式を組み合わせる複合的に鼻腔形態を改善させ、治療につなげます。鼻科手術だけでなく、耳鼻咽喉科手術全般にわたり手術適応の決定や周術期の処置を、地域の開業医の先生方と連携しながらスムーズに行えるのも当院の強みと考えます。

悪性腫瘍症例は、例年50～60例に対し治療を行っております。喉頭癌、甲状腺癌、中咽頭癌が主な癌腫で、病期に応じた適切な治療戦略を計画し初回治療を行っております。再発転移症例についても、分子標的薬や抗PD-1抗体薬が頭頸部癌にも適応となり、従来のシスプラチンと組み合わせることで治療の選択肢が広がっています。

外来診療は火曜日を除く全日で2診制で診療しております。一般外来に加え、専門外来として補聴器外来（第2,4木曜日）や嚥下外来（月・水・金）を設けています。来院して頂く地域の皆様、ご紹介くださる地域医療機関の先生方のニーズに応えられるようスタッフ一同真摯に診療していく所存です。今後ともご指導の程宜しくお願いいたします。



感染管理室の紹介

感染管理室長 辰田 仁美

感染管理室は、院内の感染管理の核となる部署であり、専従の感染管理者1名のほかにICD (Infection control doctor) 6名、感染管理認定看護師1名、感染制御専門薬剤師2名、細菌検査技師2名、事務員1名が在籍しています。毎月1回院内感染対策委員会を開催し、院内の感染の現状を把握するとともに、下記のICT、ASTでの問題点を検討しています。委員会の下部組織として、各部署の代表からなるリンクスタッフ会(各部署の看護師、技師、栄養士、事務員)があります。



ICTカンファレンス

薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance、AMR) 微生物を作らない、広げないことは、重要なことであり、当院でも多職種から構成される以下の2つのチームでAMR対策に取り組んでいます。

●ICT (Infection control team)

毎週テーマを決めて病棟ラウンドを行い、現場の状況確認や問題点に対して改善を促しています。

●AST (Antimicrobial Stewardship Team)

ASTは抗菌薬の不適切な使用や長期間の投与が、AMR微生物を発生あるいは蔓延させる原因となりうるため、患者さんへの抗菌薬の使用を適切に管理・支援するための実働部隊です。2019年度から薬剤部を中心に活動を開始し、平日は細菌検査技師、感染管理者、薬剤師、医師で耐性菌の検出状況、広域抗菌薬の使用状況を確認しています。

当院は感染防止対策加算1を取得しており、和歌山市内の感染防止対策加算1病院同士で年2回の相互チェックを行い、感染防止対策加算2の病院と定期的なカンファレンスを行っています。また、院外の活動は学会参加・発表のみならず、訪問研修を行っています。これは感染管理認定看護師が院外の施設に赴き、現場環境を踏まえたうえで、必要な対策を一緒に考える研修です。現在はコロナウィルスに対する感染対策が重要な時期であり、2施設に赴き、感染対策の基礎知識、手指衛生、3密回避などについて、ラウンドしながら助言させていただきました。

感染のアウトブレイクは無くて当たり前、発生すると大騒ぎとなります。感染管理室は目に見えない細菌・ウィルスを防御し、病院機能を正常に保つための縁の下の力持ちです。



令和2年7月新任医師紹介



かごたに りょうへい
籠谷 良平 先生

整形外科医師

紀北分院より異動となった籠谷と申します。専門は脊椎外科です。地域医療に貢献できるよう尽力させていただきます。



のだ ゆうすけ
野田 雄祐 先生

整形外科医師

医師3年目の野田雄祐と申します。至らない点多々あるかと存じますがご指導・ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



かわもと だいき
川本 大樹 先生

小児科医師

7月から小児科で勤務させていただきます。地域の医療に貢献できるよう頑張りますので、よろしくお願い致します。

救急車寄贈式

株式会社賃貸住宅センター代表取締役塚本治雄様から、当院に救急車をご寄贈いただき、令和2年5月12日に寄贈式を行いました。当日は塚本様から南條病院長に目録と鍵を授与いただき、南條病院長より感謝状をお渡しさせていただきました。

ご寄贈いただきました救急車は、平常時は患者様の搬送に、そして大規模災害発生時には当院のDMAT（災害医療派遣チーム）派遣に有効活用いたします。

改めまして、塚本様より多大なるご援助を賜りましたことをご報告させていただくとともに、この場を借りて厚く御礼申し上げます。



救急車寄贈式・感謝状贈呈式

「かかりつけ医」のご紹介

和歌山ろうさい病院との「病診連携システム」に参加されている「かかりつけ医」の先生方をシリーズでご紹介しています。

にしかわ眼科クリニック

診療科目 眼科

住所 〒640-8435 和歌山県和歌山市古屋112-1

電話 073-454-0117



院長 ^{にしかわ}西川 ^{いく}為久 先生



にしかわ眼科クリニックは2012年10月1日に和歌山市古屋に開院され、2018年1月11日に旧クリニックから50m西の現在の場所に移転しました。西川先生は子どもから大人まで幅広い年齢層の患者様を治療したいとの思いから眼科専門医になられました。学位を取得された後発白内障を始め、眼科疾患全般を診察されています。

診察時には患者様に分かりやすく丁寧に説明する事を心掛けておられ、視力・眼圧検査の結果及び問診票の内容を基に患者様の症状に沿った詳細な説明をされています。また6月には造影剤を使わない最新検査装置OCT(3次元眼底像撮影装置)を導入され、アレルギーをお持ちの患者様にも画像を用いた具体的な説明が可能となり、あらゆる患者様の診察に尽力されています。

和歌山ろうさい病院が今後も地域医療を提供し続ける上で、欠かすことのできない重要な連携協力医療機関(パートナー)です。

にしかわ 眼科 クリニック 診療時間		月	火	水	木	金	土	日
	午前 (9時~12時)	○	○	○	○	○	○	△
午後 (15時半~17時)	○	○	休	休	○	休	休	休

休診日：水曜・木曜午後・第2・4土曜・日曜・祝日

和歌山ろうさい病院 (外来診療科担当医一覧表) 令和2年8月1日現在

診療科	ブロック	診察室	月	火	水	木	金	手術日
内科	A	①番	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	若崎 久生	中 啓吾	-
		②番	三長 敬昌	中尾 隆太郎	松本 怜佳	三長 敬昌	山本 昇平	
		⑦番	大伴 裕美子(午前) (腎臓内科)	南條 輝志男 【第2週休診】	-	-	-	
脳神経内科	A	⑪番	梶本 賢輔	(午前)堀 昂平	休診	梶本 賢輔	梶本 賢輔	-
⑫番	-	(午後)神崎 和紀	堀 昂平	堀 昂平				
血液内科	A	⑩番	阪口 臨	休診	阪口 臨	(午前)弘井 孝幸	休診	-
⑪番	-	-	(午後)-		-			
呼吸器内科	A	⑤番	前部屋 賢	綿 隆信	当番医	綿 隆信	庄野 剛史	-
⑥番	辰田 仁美	庄野 剛史	前部屋 賢	辰田 仁美	当番医	原 猛	原 猛	
⑪番	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	原 猛	
消化器内科	B	⑫番	与田 武徳	中畑 明耶	岩橋 優美	垣本 哲宏	内視鏡センター診 深津 和弘	-
		⑬番	玉井 秀幸 (肝臓内科)	岡村 順平 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	玉井 秀幸 (肝臓内科)	
		⑭番	樽谷 玲	九鬼 新太郎	林 泰	林 泰 【新患診】	山本 康徳	
循環器内科	A	⑧番	当番医	-	当番医	-	当番医	火・木
⑨番	上田 美奈	上田 美奈	長谷 朋香	小森 有紀	上田 美奈			
⑩番	川本 大樹	小森 有紀	川本 大樹	長谷 朋香	小森 有紀			
小児科	C	特診⑨	小森 有紀	-	長谷 朋香	上田 美奈	【第1週目】 津田 祐子【再診】 【第2週目以降】 宮代 英吉【再診】	-
		特診⑩	川本 大樹	上田【予防接種】	【第1・3・5週目】 小森 有紀 【第2・4週目】 上田 美奈	小森 有紀	長谷 朋香	
		心工 コー	-	-	-	1・3週 心工コー 根来 博之	-	
		⑦番	山本 基	坂口 聡	岩橋 誠	岩橋 誠	山本 基	
外科	B	⑧番	当番医	清水 敦史	坂口 聡	福田 直城	清水 敦史	月・火・水・木・金
		⑨番	-	-	-	緩和ケア・NST外来 坂口 聡	-	
		⑩番	-	-	-	ストーマ外来(予約制)	-	
		⑪番	-	-	-	-	-	
整形外科	B	③番	中谷 如希	脊椎センター診 麻殖生 和博	手外科診 峠 康	中谷 如希	岩田 勝栄	月・火・水・木・金
		④番	峠 康	岩田 勝栄	籠谷 良平	スポーツ整形診 麻殖生 和博	中村 憲太	
		⑤番	当番医【紹介新患診】	籠谷 良平	山東 茂樹	野田 雄祐	山東 茂樹	
		⑥番	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	当番医 【紹介新患診】	
		⑨番	中村 憲太	-	リウマチ・膠原病内科診 【第1・3・5週目】 藏本 伸生 【第2・4週目】 田中 克典	-	-	
脳神経外科	A	⑫番	【第1週目】 寺田 友昭 【第2週目以降】 桑田 俊和	林 宣秀	桑田 俊和	当番医	岡田 秀雄	火・木
		⑬番	岡田 秀雄	-	辻 栄作	-	林 宣秀	
		⑭番	小山 佳輝	-	小山 佳輝	-	辻 栄作	
		救急待機	当番医	当番医	当番医	当番医		
呼吸器・乳腺外科	A	③番	休診	当番医 (呼吸器・乳腺外科)	玉置 剛可(午前) (乳腺外来)	玉置 剛可 (乳腺外来)	休診	月・水
皮膚科	D	①番	下松 達哉	休診	下松 達哉	丸山 希実子	下松 達哉	火
		②番	稻田 有亮		稻田 有亮	丸山 希実子	丸山 希実子	
泌尿器科	C	①番	鈴木 淳史	若宮 崇人	休診	鈴木 淳史	若宮 崇人	水・金
		②番	塔筋 央廣	塔筋 央廣		若宮 崇人	若宮 崇人	
産婦人科	D	⑩番	竹中 由夏	当番医	(午前)重根 光 (午後)久米川 綾	当番医	重根 光	火・木
		⑪番	矢本 希夫	助産外来(予約制)	矢本 希夫	助産外来(予約制)	当番医	
		⑫番	谷本 敏	当番医15診	竹中 由夏	谷本 敏	久米川 綾	
眼科	D	⑤番	(午前)坂東 肇	芦田 淳	芦田 淳	芦田 淳 (予約制)	(午前)芦田 淳	月・木
		(午後)芦田 淳	第1週のみ (午後)三村 治					
		⑥番	-	二出川 弘樹	二出川 弘樹	二出川 弘樹 (予約制)	(午後)二出川 弘樹	
耳鼻いんこう科	C	⑤番	小上 真史	休診	森山 智美	森山 智美	小上 真史	火・水・金
		⑥番	横山 道明		福田 祐也	横山 道明	福田 祐也	
		⑦番	-		-	-	-	
リハビリテーション科	D	1診	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	松本 朋子	-
		2診	当番医	峠 康	-	-	-	
放射線科	D	1診	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	三谷 康幸	-
		2診	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	塩谷 健	
女性専用外来 【完全予約制】	A・D	午後 (予約制) A⑦番 D⑩番	-	第4週 婦人科外来 笠野 有里	第1・2・3・4週 総合(漢方)外来 辰田 仁美	第1週 乳腺・肛門外来 浦 希実子	第2・4週 漢方外来 神人 美穂子	-
専門外来	備診センター【予約制】	禁煙外来(14:00~14:30) 庄野 剛史	-	-	-	禁煙外来(14:00~14:30) 庄野 剛史	肥前外来(15:00~16:00) 中 啓吾	-

(注1)

- 1.小児科の午後は、予約者を対象に専門外来を行っています。
- 2.呼吸器・乳腺外科の月曜日、耳鼻いんこう科の火曜日、泌尿器科の水曜日・金曜日、眼科の木曜日は手術のため休診です。
- 3.母乳教室は、毎週木曜日 14時~16時です。(予約制)
- 4.助産外来は、毎週火曜・木曜日 9時~15時です。(予約制)
- 5.耳鼻いんこう科の木曜日の午後の診察時間は、13時~15時となっております。
- 6.糖尿病教室は、平日月曜日~金曜日に開催しております。詳細については内科外来にお問合せください。
- 7.女性外来・専門外来は、完全予約制となっております。
- 8.お申込みは、勤労者医療総合センター直通番号(451-3303)までお申込みください。
- 9.各診療科の専門外来については、病院代表番号(451-3181)を通じて各専門外来までお問合せください。
- 10.整形外科・当番医での予約は受け付けておりません。
- 11.0.前月から変更がある部分については網掛けで標示します。

(注2)

セカンドオピニオン外来の詳細については、患者サポートセンター医療連携室(451-3181内線3128)までお問合せください。
 ※他院からの紹介状をお持ちの際は、必ず診療予約をして頂きますようお願いいたします。
 《診療予約をせずに来院されますと、担当医師が対応できない場合があります。また対応可能な場合でも、待ち時間がかなり発生いたしますので、前もっての診療予約をお願いいたします》
 【予約専用電話】 073-451-3186